

あなたは愛媛県知事ですか？

～大分県知事への申し入れと回答の経過～

文責 森山賢太郎



大分県商工観光労働部工業振興課・田北課長が対応

事故が起きれば大分県は被害地元です

2月12日、大分県広瀬知事に伊方原発に関する喫緊の課題について、松本文六及び中山田さつき共同代表以下11名が大分県庁で担当者に申し入れを行いました。

年末から定期検査に入った伊方原発3号機は1月に立て続けに3回も重大事故を引き起こしたのです。大分県知事としてどの様に対処すべきと考えているのか。また、1月17日の広島高裁決定をどう受け止めているのか等、私たちにとって切実な要求を突きつけました。

申し入れ事項

①広島高裁決定を真摯に受け止め、出来得る限りの調査を行って完全に安全性が証明されない限り、伊方原発3号機を再稼働しないこと

②相次ぐトラブルの原因を徹底解明し、大分県民に対し説明責任を果たすこと

③ MOX 燃料使用の理由とされてきた核燃料サイクルはすでに破綻しており、危険性も高く、より厄介な使用済み核燃料を生み出すことになる、MOX 燃料の再装填をやめること

④伊方原発所在地を使用済み核燃料の長期保管場所にしないこと。当面、使用済み核燃料の保管には厳重な施設で最大限の注意を払うこと

⑤臨時情報（巨大地震警戒）発令時の、原発運転継続の方

針を撤回すること

⑥責任が取れない重大リスクを抱える原子力発電事業を見直し、安全性の高い発電事業を構築すること

知事の回答（3月13日文書）

①について

伊方発電所3号機の仮処分について、1月17日に広島高裁の判断がありましたが、2月19日に四国電力が異議申立を行うとともに、各地で訴訟が継続していることから、今後も司法の動向を注視してまいります。電力会社や国には、引き続き、原子力発電所の安全対策に万全を期していただくとともに、地域へ丁寧な説明をしていただきたいと思います。

②について

一連のトラブル発生を受けて、1月27日、四国電力社長が愛媛県知事と面会して謝罪し、今回のトラブル続発を極めて重く受け止め、定期検査の作業を中断し、トラブルの原因究明と再発防止策の策定に総力を挙げて最優先で取り組む旨の報告がなされたところです。また、愛媛県知事から、四国電力に対して、県民の不安と不信感はかつてないほど高まっていることを全社挙げて認識するよう厳しく伝えたく、安全確保に向けた万全の対応を求めています。

本県としては、四国電力にはトラブルの原因究明と再発防止の徹底に取り組んでいただくとともに、地元や国民に不安を与えないよう、明確かつ責任ある説明を行いながら、緊張感をもって安全対策に万全を期していただきたいと思います。

③について

伊方発電所3号機におけるMOX燃料の装填については、原子力規制委員会で厳正な審査が行われ、許可を受けているものです。

本県としては、国は核燃料サイクルを基本方針としていることから、使用済み燃料対策は電力を消費する国民全体の問題であるという認識に立ち、国が主体となって着実に進

めていただくよう、全国知事会を通じて要望しているところ
です。

④について

愛媛県は、四国電力に対し、使用済燃料の保管は、あく
まで一時的であることを明確にするよう求めているところ
であり、伊方発電所の使用済燃料の保管について、再処理
までの一時的な保管であることを明確にした上で、乾式貯
蔵などの安全性も含め国民に分かりやすく説明すること
を、全国知事会を通じて要望しています。

⑤について

四国電力の対応方針は、南海トラフ巨大地震の影響評価
結果や、愛媛県からの要請に基づき実施した地震の揺れ対
策などを踏まえて検討したものと考えます。また、愛媛県
は、「県として臨時情報が出た際に原発運転を止めなくて
いいと言っているわけではない。情報収集に努め、原子力
規制委員会の判断等も踏まえて適切に対応する」「状況に
応じて対応する。万が一に備えて体制を整え、安全対策に
一層留意するよう四国電力に求める。」とコメントしてい
ます。

本県としては、臨時情報が出された場合は、地震の規模
や被害状況などについて迅速に情報収集を行いながら、県
民の安全・安心の確保に向けて適切に対応してまいります。

⑥については紙面の都合で省略します。

さらに私たちが口頭で強く要求したことに対する回答
で、

⑦について

事故発生時の連絡通報については、愛媛県から情報を得
ることが最善であるとしています。

今後の対応について

大分県知事は大分県民を守るために、四国電力に真正面
から向き合ってください。大分県民に降りかかってくる過
酷事故に対して、全責任を負って知事として対峙するよう
な気迫がまるで伝わってきません。毎年、愛媛県との災害
訓練をおこなっていますが、大分県は相変わらず「伊方町
住民を受け入れる立場」での訓練をやっており、大分県民
も愛媛県民と同時に被害を受ける、複合災害を想定した訓
練ではありません。およそ災害時の想像力が欠如している
ことが表れています。

このままで済ますわけにはいきません。皆さんの意見、
感想等を募って再び大分県知事に問いかけねばならないと
思っています。

***四電のトラブルについてはP4で徳田靖之弁護士が意見陳述
書でふれています。参照してください。**

伊方 一時電源喪失

1504 体保管のプール

四電 3号機 定検停止

県は25日、四国電力伊方原発（伊方町）で一
時的に原発内の全交流電源を喪失したと発表し
た。四電は原因が究明されるまで、3号機で実
施中の定期検査を全て停止するとした。1〜3
号機の設備に電源を供給する送電関連設備の交
換作業をしていた際に遮断器が作動し、3秒
間、全交流電源を喪失。3号機では非常用ディ
ーゼル発電機が自動起動した。四電によると、
1〜3号機の全交流電源喪失は初。伊方原発で
は1月に入り3号機の燃料集合体から願って制
御棒を引き抜くなどのトラブルが相次いでお
り、県が即時公表しているA区分の異常は今回
が2件目となった。

県や四電によると、25日によると、プールの温度は
は3号機の定検作業の一環 午後3時時点で33.0度だ
で、外部からの電源供給を したが、電源喪失により同
組う送電関連設備の交換を 5時に34.1度まで1.1
行っていたところ、午後3 度上昇した。総務的な温度
時44分、遮断器が作動し外 上昇は認められなかったと
部交流電源が喪失。1、2 説明している。
号機は2、3秒後に別の外 県庁での会見で四電原子
部電源からの受電に切り替 力本部の減部若本付部長
わったが、3号機は約10秒 は一瞬とはいえず外部から
後に非常用ディーゼル発電 電力供給が途絶えたこと
機が自動起動し、約30分間 は重大と認識している。相
電力を供給した。 次ぐ伊方原発でのトラブル
3号機の燃料プールに 中で皆さまに大変な心配を掛
は、使用済み燃料プールの けていることをよりおわ
・ウラン混合酸化物（MO びするご陳謝。四電は「機
X」燃料16体を含む使用済 器の故障が作業による影響
み燃料を冷却するため保管し か予断を持たずに原因を調
ている。未使用のMOX燃料 べる。定検日程への具体的
料5体も入れている。四電 影響は現状では未定」とし

た。
県の大橋良照・原子力安
全対策推進課長は「県として
は遺憾がない事案。（20
日）に起きた燃料集合体「落
下」信号発信を受けた。廠
の言及を避け「甲立審査作
業に取組みも厳しい対応に
なると述べた。
四電によると、3号機の運
転を差し止めた広島高裁の
仮処分決定に異議申し立
てを行う予定。高松市であ
った倉庫では、伊方原発で

燃料冷却43分停止

愛媛新聞 2020年1月26日